

呼吸器内科に、過去に入院された患者さんまたはご家族の方へ

## 臨床研究に関する情報

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報を用いて行います。このような研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（令和3年文部科学省・厚生労働省・経済産業省告示第1号、令和6年4月1日一部改正）」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の連絡先へご照会ください。

[研究課題名]慢性閉塞性肺疾患における認知機能と在宅酸素療法導入時期、身体機能、ADLとの関係性について

[研究機関名・長の氏名] 国立病院機構 北海道医療センター・病院長 伊東 学  
[研究責任者名・所属] 室田 英樹・北海道医療センター リハビリテーション科

[共同研究機関名・研究責任者名・機関の長の氏名]  
該当なし

[研究の目的]

新規で在宅酸素療法を導入する慢性閉塞性肺疾患の患者さんの認知機能と在宅酸素療法導入時期、身体機能、日常生活の動作能力との関係性を明らかにすること。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

慢性閉塞性肺疾患の患者さんで、2016年9月23日から2024年7月20日までの間に当院で在宅酸素療法導入のための検査、治療を受けた方

○利用する検体・情報

検体：血液

情報：診断名、病歴、治療歴、年齢、性別、身体所見(膝関節を伸ばす筋力、下肢機能検査(バランス能力、4m歩行速度、5回立ち上がり時間)、日常生活の動作能力、労作時の動脈血酸素飽和度(血液中に酸素が何%含まれているか))、診断日から在宅酸素療法導入までの日数、検査結果(血液検査、呼吸機能検査、認知機能検査)

\*この中でも認知機能検査、日常生活の動作能力、診断日から在宅酸素療法導入までの日数は重要項目となります。

○送付方法

該当なし

[研究実施期間]

実施許可日(検体・情報の利用開始:2016年9月頃)~2024年7月20日(登録締切日:2024年7月20日)

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

\*上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[当院の連絡先・相談窓口]

札幌市西区山の手5条7丁目1-1

国立病院機構 北海道医療センター リハビリテーション科 理学療法士 室田 英樹

電話 011-611-8111 (代表)